

御中

75歳以上の後期高齢者医療自己負担原則2割化に反対しましょう

国会に提出する請願署名へのご協力をお願いします

貴団体のいのちや暮らしを守る諸活動に敬意を表します。

経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）で、後期高齢者医療の自己負担を1割から2割にする負担増が審議されています。社会保障審議会（厚生労働省）においても論議が開始されました。2割化ということは現在の2倍になるということです。この負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいますが、遅くとも来年の通常国会には「改正」法案が提出されることが考えられます。75歳以上の医療費自己負担が2割になる動きをまだ多くの国民は知りません。

高齢者の7割が所得100万円（年金収入220万円）未満であり、厳しい生活を強いられています。生活を支える唯一の公的年金は減らされ続け、年金収入が生活保護基準を下回る世帯が3割に迫っています。後期高齢者医療制度の「特例軽減措置」も今年度までに廃止されました。医療費自己負担の2割化は医療機関の利用を大きく阻害し、高齢者のいのちを縮めるものです。なんといても阻止していきたくと考えています。

以上の主旨から、後期高齢者医療の自己負担2割化を止めさせるための署名を来年の通常国会まで取り組むこととしました。貴団体におかれましても以下のご協力をいただきたくお願い申し上げます。

- 1、主旨に賛同していただくこと
- 2、署名用紙を活用し、構成員に署名をお願いしていただくこと
- 3、都道府県議会や地方自治体議会での「2割引き上げ反対」の意見書採択要請に賛同していただくこと

2018年9月

呼びかけ団体

中央社会保障推進協議会 東京都台東区入谷1-9-5 03-5808-5344

全日本年金者組合 東京都豊島区南大塚1-60-20 03-57978-2751

日本高齢期運動連絡会 東京都中野区中央5-48-5-504 03-3384-6654